

要 望 書

私たちは、地域経済の活性化や自然災害への備えを高めるため、道路を活用し様々な取り組みを展開している。

この取り組みと道路整備によってもたらされる効果を早期に発揮させ、先々にわたり確実なものとするとともに、ポストコロナ時代の「新たな日常」を実現させるため、次の事項について、計画的かつ着実に実現することを強く求める。

1. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の当初予算における安定的な確保
2. 災害への備え及び観光等の経済復興のため、人流・物流の活性化に向けた高規格道路のミッシングリンクの解消、四車線化とダブルネットワークの構築及び開通予定時期の早期公表
3. 新たな広域道路交通計画の早期策定及び重要物流道路の更なる指定などネットワークの強化
4. 国土強靱化の事業計画に基づく道路の橋梁、トンネル等の老朽化対策の推進
5. 地震時の迅速な支援人員派遣及び支援物資搬送の支障とならぬよう無電柱化を推進するとともに、地震等の大規模災害時における道路周辺環境の安全性・安定性を確保すること
6. 頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための地方整備局の体制の充実・強化
7. 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和4年度道路関係予算の所要額を満額確保すること

令和3年6月2日

道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 会長 池田 洋光